

第3章 おわりに

第2章で概観した調査結果のうちポイントとなる点を本章で改めて整理する。

・希望する就職先企業

学生合計で見ると、「勤務地が限定される全国規模の企業」（約40.0%）、「全国転勤がある全国規模の企業」（約29.5%）および「海外展開もしている企業」（約27.3%）を希望する割合が高く、事業所を広域に展開している企業を希望している（13～14 ページ、図表2-15）。

ただし、女子学生は、「勤務地が限定される全国規模の企業」（約47.0%）および「主に特定の地域に展開する企業」（文系：約32.7%、理系：約29.8%）を希望する割合が高く、勤務地が限定される企業を希望する傾向がある。

・地域限定正社員への応募意向

就職活動開始時に地域限定正社員への応募意向がある割合（「是非応募したい」と「（限定のない一般の正社員と）処遇に大きな差がなければ応募したい」の合計）は、学生合計で約76.6%である（15～17 ページ、図表2-18～2-19）。とりわけ女性の文系学生では約85.3%と、応募意向のある割合が相対的に高い。なお、応募意向のある学生の現在の居住地域は、約64.9%が東京・名古屋・大阪の三大都市圏である（18～19 ページ、図表2-22）。

勤務限定正社員への応募意向のある学生が希望する勤務地は、「現在の居住地域」が約76.6%でもっとも割合が高く、ついで「高校卒業時の居住地域」（約42.0%）である（19～20 ページ、図表2-23）。勤務地として希望する「現在の居住地域」は「大学（大学院）の所在地域」とほぼ同じ地域であるが（21～22 ページ、図表2-26）、勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」は「現在の居住地域」と約2割乖離している（24 ページ、図表2-29）。

・職務限定正社員への応募意向

就職活動開始時に職務限定正社員への応募意向がある割合は、学生合計で約58.0%である（25 ページ、図表2-32）。とりわけ女性の理系学生では約67.5%と、応募意向のある割合が相対的に高い。

職務限定正社員の応募を希望する理系の学生は、「大学・大学院の専攻に直結した仕事」（男性：約62.7%、女性：約54.3%）を希望する割合が高い（27～28 ページ、図表2-35）。ただし、男性の文系学生は、「一般事務の仕事」および「営業の仕事」を、女性の文系学生は、「一般事務の仕事」を希望する割合が高い。

・勤務時間限定正社員への応募意向

就職活動開始時に勤務時間限定正社員への応募意向がある割合は、学生合計で約51.8%である（31 ページ、図表 2-41）。とりわけ女性の理系学生では約61.3%と、応募意向のある割合が相対的に高い。

ただし、勤務時間限定正社員の応募を希望する学生の約82.0%は、残業がないことを希望しており、所定内勤務時間が短いことを希望する割合は低い。（33 ページ、図表 2-44）

・就職予定先企業での働き方

内定を得て就職活動を終えた学生の就職予定先企業での働き方は、「限定のない一般の正社員」が約67.7%、「地域限定正社員」が約21.8%、「職務限定正社員」が約16.1%、「勤務時間限定正社員」が約2.8%となっている（43～44 ページ、図表 2-59）。

就職活動開始時の限定正社員への応募意向と就職予定先企業での働き方を比較すると、地域限定正社員への応募意向のある学生の約28.6%が就職予定先企業で地域限定正社員として働く予定である（45～47 ページ、図表 2-62～2-64）。同割合は、職務限定正社員では約24.3%、勤務時間限定正社員では約4.4%となっている。

・希望する働き方の変化

調査時点で就職活動を続けている学生のうち希望する働き方に大きな変化のない学生は約89.4%だが、限定正社員や契約社員から一般の正社員希望に変えた学生が約7.1%いる（62～63 ページ、図表 2-84）。希望する働き方が変わった主な理由は、「希望している企業のなかでは、その働き方でしか求人している企業がないから」が約35.2%、「その働き方でしか内定を得られないと思うから」が約23.5%である（66 ページ、図表 2-89）。

・通年募集・秋季募集

通年募集・秋季募集が多ければ良いと思う学生は、合計で約60.6%である（67～68 ページ、図表 2-91）。通年募集・秋季募集が多ければ良いと思う主な理由は、「就職活動に時間をかけて自分に合った企業を見極めたいから」が約61.2%、「希望する就職先の候補が複数あり、採用スケジュールが重なるのを避けたいから」が約47.9%である（69～70 ページ、図表 2-94）。

Q1 学年

	N	学部4年 (4年に 進級後留 年してい ない)	学部4年 (4年に 進級後留 年してい る)	学部6年 (医・薬 学部な ど、6年 に進級後 留年して いない)	学部6年 (医・薬 学部な ど、6年 に進級後 留年して いる)	大学院修 士(前期 博士)課 程	大学院博 士(後期 博士)課 程	その他
全体	5601	68.9	3.7	2.5	0.1	24.0	0.6	0.3
Q14. 希望する働き方の変化								
1. 限定正社員や契約社員を希望していたが、一般の正社員希望に変えた、または一般の正社員に絞った	132	78.8	3.8	2.3	-	12.9	0.8	1.5
2. 一般の正社員を希望していたが、限定正社員や契約社員を希望するようになった	64	76.6	3.1	-	-	18.8	1.6	-
3. 大きな変化はない	1661	77.7	5.4	2.1	0.1	14.1	0.4	0.2
4. 非該当	3744	64.6	2.9	2.7	0.1	28.8	0.6	0.3
Q14SQ1. 現在希望する働き方								
1. 地域限定正社員(就業する地域が特定されているか一定の範囲内にあらかじめ決められている働き方の正社員)	43	83.7	2.3	-	-	14.0	-	-
2. 職務限定正社員(従事する職務(職種)が特定されているか一定の範囲内にあらかじめ決められている働き方の正社員)	32	71.9	-	-	-	25.0	3.1	-
3. 勤務時間限定正社員(所定の勤務時間を超えた勤務はないか、あっても一定の場合の限られた時間にあらかじめ決められている働き方の正社員)	17	70.6	5.9	-	-	23.5	-	-
4. 契約社員(一定の業務に就くことを前提に、期間の定めのある契約で採用する社員)	19	84.2	-	-	-	10.5	5.3	-
5. その他	4	100.0	-	-	-	-	-	-
6. 非該当	5537	68.8	3.7	2.5	0.1	24.0	0.6	0.3
Q14SQ2. 希望する働き方が変わった理由								
1. 希望している企業のなかでは、その働き方でしか求人している企業がないから	69	78.3	5.8	1.4	-	14.5	-	-
2. その働き方でしか内定が得られないと思うから	46	78.3	2.2	-	-	15.2	2.2	2.2
3. 採用後に希望する働き方に転換できる可能性がある求人があるから	39	79.5	-	2.6	-	17.9	-	-
4. 家庭の事情などで変化があったから	7	71.4	-	-	-	28.6	-	-
5. その他	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3
6. 特に理由はない	32	78.1	6.3	3.1	-	9.4	3.1	-
7. 非該当	5405	68.6	3.7	2.5	0.1	24.3	0.6	0.2
Q15. 通年募集・秋季募集は良いと思うか								
1. はい	3395	71.0	4.5	2.1	0.1	21.3	0.8	0.3
2. いいえ	436	62.6	1.8	4.6	0.2	30.0	0.5	0.2
3. どちらともいえない	1770	66.6	2.5	2.7	0.2	27.5	0.3	0.2
Q15SQ1. 通年募集・秋季募集が良いと思う理由								
1. 就職活動に時間をかけて自分に合った企業を見極めたいから	2078	72.5	4.8	2.0	-	19.6	0.6	0.4
2. 希望する就職先の候補が複数あり、採用スケジュールが重なるのを避けたいから	1626	71.2	4.9	2.2	0.1	20.5	0.7	0.5
3. 現在のスケジュールでは、学業に支障があるから	1165	63.4	4.7	2.5	0.1	27.6	1.2	0.5
4. 海外留学をして帰国する際に、より容易に就職活動できるようになるから	533	64.4	7.7	0.9	0.2	25.0	1.3	0.6
5. 教育実習のスケジュールと重なるから	250	78.8	5.6	3.2	-	12.4	-	-
6. 公務員試験のスケジュールと重なるから	497	73.6	4.8	1.8	-	19.1	0.4	0.2
7. 卒業後しばらくしてから仕事に就くことができるようになるから	791	65.6	5.2	1.4	0.1	26.2	1.3	0.3
8. 家庭の事情などで特定の時期に集中して就職活動ができないから	283	71.4	7.4	2.1	-	17.0	1.4	0.7
9. その他	56	73.2	3.6	3.6	-	19.6	-	-
10. 特に理由はない	157	73.9	1.3	1.9	-	21.0	1.9	-
11. 非該当	2206	65.8	2.4	3.0	0.2	28.0	0.3	0.2

Q1 学年

	N	学部4年 (4年に 進級後留 年してい ない)	学部4年 (4年に 進級後留 年してい る)	学部6年 (医・薬 学部な ど、6年 に進級後 留年して いない)	学部6年 (医・薬 学部な ど、6年 に進級後 留年して いる)	大学院修 士(前期 博士)課 程	大学院博 士(後期 博士)課 程	その他
全体	5601	68.9	3.7	2.5	0.1	24.0	0.6	0.3
Q16. 海外留学経験								
1. したことがある	854	69.8	6.8	0.8	0.1	20.7	1.3	0.5
2. したことはない	4747	68.8	3.1	2.8	0.1	24.5	0.5	0.2
Q16SQ1. 海外留学の形								
1. 海外の大学・大学院に入学し、卒業した	66	62.1	6.1	1.5	-	28.8	1.5	-
2. 日本の大学・大学院の課程の一環で一定の期間留学した	492	70.3	7.3	1.0	0.2	19.1	1.6	0.4
3. その他	296	70.6	6.1	0.3	-	21.6	0.7	0.7
4. 非該当	4747	68.8	3.1	2.8	0.1	24.5	0.5	0.2
Q16SQ2. 海外留学終了時期と採用スケジュールのミスマッチ								
1. あった	22	59.1	9.1	-	-	27.3	4.5	-
2. なかった	44	63.6	4.5	2.3	-	29.5	-	-
3. 非該当	5535	69.0	3.6	2.5	0.1	23.9	0.6	0.3

JILPT 調査シリーズ No.178

大学生・大学院生の多様な採用に対するニーズ調査

発行年月日 2018年3月23日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構
〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

印刷・製本 有限会社 正陽印刷

©2018 JILPT

Printed in Japan

*調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)